



1月8日

白山市消防出初式

白山市消防団23分団が白山市役所駐車場に一堂に会し、白山市消防出初式が実施されました。迫力ある一斉放水に観客からも大きな歓声があがっていました。



5月22日

金沢駐屯地創立72周年記念行事

コロナや災害などの影響で一般客の入場は4年ぶりとなりました。息の合った音楽隊の軽快な演奏や統制のとれた模擬戦闘訓練などに観客から拍手が送られていました。



3月20日

山島地区コミュニティ協議会

千代野地区や加賀野地区の自主防災組織の活動を説明いただき、万への備えと住民同士の助け合いの大切さを再認識させられました。



6月10日

白山白川郷ホワイトロード開通式(石川県側)

近年は斜面崩壊やコロナ禍の影響もあり、利用台数が減少していますが、白山ろくの絶景が皆様の癒しになればと思っております。



7月16日

石川県立図書館開館記念式典

館内の円形劇場のような本棚には、テーマごとに約30万冊の本が配置されています。閲覧席は約500席、駐車可能台数も約400台と旧県立図書館から大きく増加しています。

4月27日 白山市し尿・浄化槽汚泥受入施設竣工式

白山市や能美市、野々市市、川北町による広域処理を行い、効率的な維持管理や施設の集約化を図り、温室効果ガスの削減につながる事が期待されています。



6月19日 白山野々市川北消防訓練大会

3年ぶりの開催となりましたが、消防分団員のきびきびした訓練の様子を拝見し、私も地域防災活動に引き込まれて取り組んでまいりたいと決意を新たにしました。



7月22日

いっぱい食べよう！いしかわのお米キャンペーンキックオフセレモニーinイオンモール白山

長引くコロナ禍による外出需要の減少などで米の需要が減っています。お茶碗一杯のご飯は25円と家計にもやさしく、家族みんなでおいしい石川のお米を食べてみましょう。



安実 隆直 ANJITSU TAKANAO

県政報告誌

今日も

大安吉実

たいあんきちじつ

大きな安心と安全な暮らしをきっちり実現します

Vol.11

令和4年8月発行

ごあいさつ

暑い日が続く中、自宅のあさがおに癒されていた毎日ですが、そろそろ見納めとなります。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

6月、白山市内で悲しい水難事故が相次ぎました。白山市森島町の用水路に小学生の男の子が転落し、助けようとした母親も一緒に流され、亡くなりました。また、白山市の徳光海岸では、小学生の男の子が沖に流され、男の子は救助されたものの、助けようとした父親が溺れて死亡しました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、ご遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。このような痛ましい水難事故が二度と起こらないよう、地域の方々とも協力しながら命を守る安心、安全な地域づくりを進め、身のまわりに潜む危険の周知徹底にも全力で取り組んで参りたいと思っております。



白山市の花「あさがお」
詳細はこちら→



一方、2020年12月から奥能登で頻発する地震のようにつどどこで発生するのか分からない自然災害にも、今からでき得る備えを徹底したいと思っております。例えば、就寝時の安全確保を考えた家具の固定や避難場所・避難経路の確認、防災バッグの準備など各家庭でもちょっとした心がけでできることもいろいろあります。

災害に打ち勝つためには、自助、共助、公助の組み合わせが重要であり、まず自分(家族)の身は自分(家族)で守るという意識を地域住民の一人ひとりに伝え、みんなが安心、安全に暮らせる地域の実現を目指したいと思っております。

石川県議会議員 安実隆直

視察レポート

ペットとの関わり方を考える

5月、三重県多気町の大型複合リゾート施設「VISON(ヴィゾン)」内にオープンした動物のシェルター施設「ani TERRACE」を視察しました。来場者が動物と触れ合えるだけでなく、捨てられた猫や犬の新たな飼い主の出会いの場ともなっていました。



PROFILE プロフィール

(あんじつ・たかなお)
1964年8月18日白山市矢頃島町生まれ。松南小学校、松任中学校、石川県立松任高校、石川県立農業短期大学卒業。手取川七ヶ用水土地改良区勤務を経て、2013年2月白山市議会議員初当選、17年2月同2期目当選。19年4月石川県議会議員初当選。
《所属党派》 自由民主党石川県議会議員協議会
《所属委員会》 商工観光公安委員会(副委員長)、災害・県土強化対策特別委員会



スマホでも活動報告をぜひご覧ください

県政の相談や地域のお困りごと相談はこちらへ



安実隆直事務所

〒924-0865 白山市倉光五丁目 106-1 グレイス K1F
TEL & FAX.076-205-8299 E-mail takanao@anjitsu.jp
https://anjitsu.jp

安実隆直 検索

最新情報は公式facebookで配信中



裏面の「活動レポート」もぜひご覧ください。最新情報はホームページやスマホでチェックしてください。



Pick up!

能登牛の生産振興について



Q1.能登牛の首都圏での販売促進に向けた取り組みはどのようなものか。

首都圏へ本格出荷でブランド力向上

A.昨年度は過去最高の1210頭を出荷し、目標の1500頭に向け着実に出荷数が増えている。さらにブランド価値を高めるため、今年度から首都圏への出荷を本格化し、同時に市場開拓を進める。具体的には食肉卸売業者にトップセールスで能登牛のぎめの細かい肉質と上質な脂のとろけるような食感などの魅力を伝え、首都圏の高級スーパーでフェアを開催するなど、引き続き生産者やJAとも連携しながらファン獲得を目指す。

Q2.今年度は5年に一度の和牛のオリンピックとも呼ばれる「全国和牛能力共進会」が10月に鹿児島県で開催されるが、どのように取り組むつもりなのか。

A.全国和牛能力共進会では、霜降り度合いやオレイン酸含有率などが審査の決め手となるので、JAと連携しながら最適な飼料の給与方法などきめ細かく指導している。出品牛は、特に発育が優れている牛の中から遺伝情報を取り入れた最新の評価手法も活用し、遺伝的にも肉質が優れているものを決める。



能登牛の魅力伝えるホームページ



2022.6.9

県議会定例会 一般質問

県議会・録画中継をご覧ください



県議会・会議録もご覧ください



発言者検索で「安実」と入力してください

県農政について

Q1.世界的な肥料や飼料の高騰は、食料生産現場や食卓に大きな影響を与える恐れがある。現状をどのように把握し、今後の対応や対策をどう考えているのか。

A.今年の水稲向け春用肥料は、JAの積立金で補填され、昨年秋の価格に据え置かれたものの、現時点の価格は昨年同時期と比べて約6割上昇している。一方、飼料も農家の実質購入価格が昨年同時期と比べて約2割上昇している。肥料や飼料の価格高騰への対応は、全国的な課題であり、6月の中部圏知事会で国に対策を強く求めるべきと提案し、緊急提言として取りまとめられることになった。今後も国の動向を注視しながら全国知事会などを通じて、国に対して農業者の負担軽減策の強化を要望していく。

Q2.水稲栽培の省力化につながる自動給水機や水管理システムの普及にどのように取り組んでいるのか。今後の対応はどのようなものか。

A.国の調査では、自動給水機を導入すれば、水管理の労働時間が約7~8割軽減できるとしている。自動給水機の設置を支援する国の補助は、今年度からほ場整備事業などを伴わない既存の水田に設置する場合も対象となった。県でも普及に向けて様々な機会を通じて担い手に自動給水機の導入効果や国の補助事業制度などを周知していく。



県産農林水産物のブランド化について

Q.コロナ禍で「県産ブランド食材」の認定を見送っていたが、今後どうしていくつもりなのか。

A.今夏にもブランド化推進条例に基づき、「県産ブランド食材」の認定を行う。有識者の意見を聞いたうえで、県がブランド化に取り組む8品目(能登牛やルビーロマン、百万石乃白など)や、特色ある農林水産物の中から認定食材を決める。認定に合わせて、首都圏でのトップセールスや県内外で旬の食材を集めたPRイベントなども実施し、認知度向上や販売増加につなげたい。



石川県のホームページでも県産農林水産物のブランド化の取り組みを紹介している



北陸鉄道の鉄道路線の在り方について



Q.石川線と浅野川線の維持存続の問題をどのように考えているのか。

A.通勤や通学、買い物など地域住民の生活を支え、観光客の二次交通としても重要な公共交通機関だと認識している。県では輸送の安全確保を図るため、国や沿線市町と協調して設備投資の支援を行っている。今後の在り方は、石川中央都市圏地域公共交通協議会でも沿線市町と意識を合わせながら、事業者や行政、地域の役割を整理し、県としても必要な協力や支援をしていきたい。

地震被害想定の見直しについて

Q.早急に地震被害想定(1997年度から見直されていない)を見直し、市町の防災計画に反映していくべきだと思うが、今後のスケジュールも含めてどうなっているのか。

A.昨年来、奥能登地方で地震が頻発しており、5月の県防災会議でも地震被害想定を見直すため、森本・富樫断層帯など課題を整理し、手法の検討を進めていくことを決めた。来月には議論をスタートし、議論を公開することで、県民の防災意識の向上につなげたいと思っている。

その他の質問

- 園芸農業の振興策
- 農業の担い手の確保
- 麦や大豆、野菜等への作付転換
- ブランド認証の現状など